

■事業の概要とカリキュラムについて

子ども達は、5人1組になり、商売（仕事）の楽しさ、厳しさを知ってもらうために、模擬株式会社をつくって、商売を体験します。模擬株式会社の元手は、株主から出資してもらった「資本金」10,000円と銀行（商工会議所）からの「借入金」10,000円の合計20,000円で行います。（仕入等が発生するため、バザーではありません。）

子ども達は「自分で行う楽しさ」「買ってもらう楽しさ」「仲間が増える楽しさ」の3つの楽しさから、自ら社会に必要な能力に気づき、身につけることができます。また、学校で学んでいる国語や算数などを活かして、社会との関りを体験する総合実践の場でもあります。

販売終了後、商品のアイデアや売り方、利益額などを総合的に評価し、最も優秀な結果を出したチームをグランプリとして表彰します。

| | |
|------------------------|--|
| 1、ドリームセミナー (1日3時間) | 株式会社とは何か、株式会社における事業計画の必要性などを学ぶ。また、ドリームセミナーで会社の設立の登記を行う。 同時間帯に、保護者を対象としたサポーターセミナーを開催し、子供とのかかわり方や起業教育について説明を行う。 |
| 2、合宿 (2日間12時間) | ドリームボード（会社でいう、事業計画書）を作成し、ビジネスマナー、銀行への借入申し込みのプレゼンを行い、事業を行う準備を進める。 |
| 3、会社説明会（各自1時間） | 保護者を対象に各会社が事業説明会を行い、1人1,000円×10名の株主を集め、出資してもらう。 |
| 4、販売 (1日6時間) | イベント会場に出展して、実際に販売を行う。 |
| 5、まとめセミナー (1日3時間) | 決算報告書を作成し、利益処分（税金、役員報酬、配当金）を行う。 また、保護者へのお礼の手紙と事業のまとめを行う。 |
| 6、決算発表会、表彰式 (1日3時間) | 結果の評価を発表し、優秀チーム等の表彰を行う。 |

また、子供達は、個別に商品の決定、サンプルの作成、仕入れ、帳簿付けなどを行っている。

